

2012年11月21日

岩手県知事達増拓也様

岩手県南3市町の子どもたちの甲状腺検査実施を求める要望書

子どもたちの未来を考えよう平泉の会（平泉町）

里山生活学校*¹（奥州市）

六ヶ所ラプソディー岩手県南・宮城県北上映者の会（一関市）

岩手ホスピスの会*²（盛岡市）

三陸の海を放射能から守る岩手の会*³（盛岡市）

他連名 32 団体：後掲

日頃 震災復興並びに県民の福祉向上のためご尽力頂き感謝申し上げます。

昨年3月11日の福島原発事故により岩手県内も広く放射能で汚染され、特に県南の一関市、奥州市、平泉町は国の「汚染状況重点調査地域」に指定されております。

私たち県内市民団体は福島原発事故による岩手県内の放射能汚染とこれに伴う子どもたちの被ばくによる健康影響を憂慮し各々の団体個別に貴職に訴えて参りました。昨年3月25日には「至急ヨウ素剤を子どもたちへ優先し配布すること」と緊急要望をいたしました*³。また今年4月16日には子どもの内部被ばく検査の継続を求める質問状を提出し回答を得、5月には再度要望しました*⁴、*¹。また今年7月11日には同様継続検査を求める願いを提出し*²回答を得、9月28日再度甲状腺検査実施についてのお願いをしてきた経緯があります。

岩手県では昨年度県南の子どもたち132名の尿検査を行い「放射線内部被ばく健康影響調査有識者会議」を3月2日まで2回開催し「健康影響は極めて小さいレベルで、調査の継続は必要ない」と結論付けました。しかし、私たちの要請に応え、10月県当局は尿検査の継続を決定して頂きそのご英断に感謝申し上げます。

福島県では4月26日「県民健康管理調査」結果が公表されています。これによると昨年度は18歳未満の子どもたち約3万8千人の甲状腺調査を実施し35.3%からのう胞や結節が見つかり、今年度については5月から8月にかけて約4万2千人の調査結果43.1%からのう胞や結節を発見と更に悪化していることが9月公表されました。北海道深川市立病院松崎道幸医学博士は過去の甲状腺のう胞調査結果を調べ、昨年度分35.3%の結果について「福島県調査の“のう胞”保有率は、過去のどの調査よりも高率である」と結論付け「驚くべきものである」と述べています。

このような福島県の状況は、本県においても県南の子を持つ親の不安を増大させています。以上に鑑み岩手県の子どもたちの甲状腺疾病の早期発見早期治療のため、以下緊急に甲状腺の検査を実施して頂きたく要望いたします。

要望事項

- 1) 県南の汚染状況重点調査地域の3市町（一関市、平泉町、奥州市）において18歳以下の子どもたちの甲状腺検査を実施し、その結果を保護者に知らせるとともに、プライバシーに留意したうえで、データを公開すること。甲状腺の状態によりさらに詳細な継続検査を行うこと。（有識者会議の議事録を見ると、甲状腺検査に関しては「放射性ヨウ素の被ばく量は調査できないが、必要性としては低いのではないか、やるなら定期的に」といった検査継続については含みのある発言が複数みられました。）
- 2) 1)の結果を元に岩手県「放射線内部被ばく健康影響調査有識者会議」を再度開催し判断を求めること。この会議に市民の代表を複数加えること。

前文のように「福島県健康管理調査結果」は甲状腺のう胞が高率で発見されており、有識者会議が行われた3月2日以前の状況とは異なった状況になっており、再度開催を求めます。専門家会議に市民代表が加わることにより市民の目線で質疑応答がなされることは会議の信頼性を高めることになると思われます。

- 3) 甲状腺障害以外の疾病の予防について調査・保健指導などを実施すること。

チェルノブイリ周辺の3国（ベラルーシ、ウクライナ、ロシア）では、事故後26年経過した現在、汚染地に住むもしくは被ばくした親から生まれた等の子どもたちの健康悪化が報じられています。（ウクライナ政府報告書「チェルノブイリ事故から25年“Safety for the Future”」）事故後年々健康な子どもが減少し、疾病のある子どもが増えてきています。岩手県としてこのような事実から学び、早期発見・早期治療のもと疾病予防にご尽力をお願いします。

（以上）

連絡先 三陸の海を放射能から守る岩手の会

世話人 永田文夫

〒020-0004 岩手県盛岡市山岸6-36-8

Tel/fax:019-661-1002

連名 32 団体 （県内 30 団体、県外 2 団体）

一関地域の緩和ケアを考えるリボンの会（一関市）

放射能から子どもを守る岩手県南・宮城県北の会（一関市）

放射能から子どもを守るプロジェクト・チーム奥州」（奥州市）

岩手県教職員組合・胆江支部（奥州市）

がん家族の会・北上おでんせの会（北上市）

共生ユニオンいわて（北上市）

放射線被曝から子供を守る会・いわて（北上市）

ハチドリかあさんの会（北上市）

震災支援・チームにしわが協議会（西和賀町）

子どもと海と空の会(花巻市)
お産ぽ通信(花巻市)
お産と地域医療を考える会(花巻市)
クランボンの会(矢巾町)
がん患者と家族の会かたくりの会(盛岡市)
ブドリとネリの会(盛岡市)
原発からの早期撤退を求める岩手県学識者の会」結成準備会(盛岡市)
無限洞(盛岡市)
たんぽぽ会(雫石町)
がん患者と家族の会かたくりの会・宮古支部(宮古市)
こどもたちの教育と未来を考える会(宮古市)
らんきゅう・婦人科がん患者会(宮古市)
豊かな三陸の海を守る会(宮古市)
子育てを楽しむ会(宮古市)
子どもと未来を守る会(宮古市)

岩手有機農業研究会(岩手県)
岩手県原爆被害者団体協議会(岩手県)
盛岡医療生活協同組合(岩手県)
岩手県保険医協会(岩手県)
岩手県反核医師・歯科医師の会(岩手県)
岩手県産婦人科医会会長 小林 高*⁴(盛岡市)

・・・県外2団体・・・

核燃サイクル阻止一万人訴訟原告団(青森県)
放射能を拡散させない市民有志の会(秋田県横手市)